

千葉県社保協通信

2019年度一 No12 2020年 1月 29日号

〒260-0854 千葉市中央区長洲 1-10-8 自治体福祉サカビル 3F

TEL : 043-225-6790 FAX : 043-221-0138 Eメール syaho2006@star.ocn.ne.jp

県社保協 & 地域医療と公立病院を守る県民連絡会 県要請・懇談

公立・公的病院「再検証」要請は撤回させ 医師・看護師を増やし、 地域医療・介護体制充実を！



県民連絡会後藤英輝代表が要請団としてあいさつ

1月29日、県社保協は地域医療と公立病院を守る千葉県民連絡会と共同で「医師・看護師を増やし、地域医療と介護の提供体制の充実を求める要望書」を提出、県の担当各課と懇談。要望内容は、医師・看護師の確保、県立病院の存続・充実、県民の立場に立った保健医療計画・地域医療構想、地域包括ケア・在宅医療、国民健康保険など39項目です。

とりわけ、厚生労働省の「公立・公的病院再編・統合」の「再検証」要請について、「特定のデータ、全国一律の基準で個別の医療機関に再編・統合の検討を求める方法は地域医療の崩壊を招くこと、地方自治への不当な介入であることから、撤回するよう国に要請すること」さらに、「県として『名指し』された10の病院と自治体関係者、地域住民の医療ニーズ等をよく聞き取り、拙速な判断をせず、すべての県民の命と健康を守り、安心して住み続けられる地域づくりのための努力を」と強く求めました。

懇談には、千葉、市原、香取、匝瑳、山武、長生、松戸の各地域、団体から29人が参加しました。「再検証」のリストに挙げられた「多古中央病院」「千葉東病院」「ジェイコー千葉病院」などではすでに「病床削減・機能再編」がすすめられており、「なぜ対象になるのか」との声が上がりました。「千葉市立青葉病院」は「救急医療の受け入れは市内トップであり、近隣に千葉大学病院はあるが紹介状がなければいけない」「地域の実情をしっかりと見てほしい」と訴え。県の担当者は「地域医療構想調整会議で議論し方向性を出す」としましたが、参加者の「調整会議には地域の住民の声が反映される仕組みがない」との指摘に対し、「調整会議の在り方についても検討したい」と回答。要望事項に対して、あらためて文書での回答を求めました。

県社保協・消費税廃止県連絡会・共同定例宣伝

消費税は5%に引き下げて！ 税金の集め方・使い方変えて 安心の社会保障を！！

25日昼、県社保協は消費税廃止県連絡会と共同でJR千葉駅前定例宣伝を行い、労連、土建、千商連、保険医協会、新婦人、自治労連、共産党など8団体10人でテッシュ付チラシ180セット配布。13筆の署名が寄せられました。



●「署名するよ」と車イスの男性。「とにかく安倍政治はひどいね。庶民のくらしがわかっていないよ。消費税10%に上げるような時期ではないでしょ。社会保障？何がよくなった？ちっともよくなる、負担がふえただけだ」と怒りがいっぱい。

●67才年金生活の女性。「消費税10%おかしい。経済成長してるなんて実感ない。年金も少ないし、国民健康保険料は高い。安心して暮らしたい、そのために私にできることはとも考える。澤地久枝さんたちが立ち上げた（アベ政治を許さない）は共感できてすごいと思う。原発反対集会には参加したことがあります。官邸前にも行ってみたいですね。それに、安保反対行動などあれば参加したい」と署名。